



今月の農家さん

目標を見つけて仕事を楽しく

野洲市小南
嶋村 勝さん (74才)



物事の観察や研究が好きな水稻農家の嶋村さん。会社の研究部門で仕事をするかたわら、30年ほど前にご両親から田んぼを受け継ぎました。

当初は「田んぼを守らなければいけない」という責任感から兼業農家になりましたが、農作業に得意の観察・研究の要素を取り入れ、新たな品種の作付けや、栽培方法による違いを調べるなど、楽しみを作ったそうです。

「毎年同じに見える稲でも、じっくり観察す

ると色々な発見があります。これを活かして、改良点を考えるのも楽しみです」と語ります。

嶋村さんは、他にも稲作の楽しみを作り、栽培が途絶えていた伝統品種の復活や米の地域ブランド立ち上げ、小学校での農作業体験・食育などに取り組んできました。

最後に嶋村さんは「目標があると仕事は楽しくなります。今は、米中心の日本食文化を守るため頑張っています」と話しました。

営農情報

◆小麦の穂肥・実肥について

「稲は地力でとり、麦は肥料でとる」と言われるように、麦にとって穂肥はとても大切です。小麦は葉色が極端に薄くなると、なかなか元に戻りにくいため、葉色が薄くなる前に穂肥を与えましょう。平成31年産の小麦は、晴天に恵まれ播種作業が順調に進んだことから、生育が旺盛で茎数も多い傾向です。

そのため、穂肥の施用も前倒しになることが予想されますが、あまりに早い施肥は倒伏を招くので、葉色が濃く、茎数が過剰な場合は、平年と同時期に施肥してください。(下表参照)

なお、過湿な土壌状態では、穂肥の効果が出にくく、降雨や積雪などで病気を招くこともあるため、徹底した排水対策をします。

また、小麦のタンパク質含量と容積重を向上させるためには、穂ばらみ期以降に行う「実肥」が重要です。「麦パンチ」などの基肥一発型肥料を使用されている場合も、品質ランク向上のために実肥を与えるといいでしょう。

4月に実肥施用に関する現地農談会を予定していますので、ぜひご参加ください。

穂肥・実肥の施肥時期と量のめやす (分施タイプ)

| 品 種 | 時 期 | 穂肥 1 回目 【今年：2月上旬】 【平年：2月中旬】 | 穂肥 2 回目 【今年：2月下旬】 【平年：3月上旬】 | 実肥 (開花期) 【今年：4月中旬】 【平年：4月下旬】 |
|---------|-----|-----------------------------------|-----------------------------------|---|
| 農林 61 号 | | NK-C20 20kg 高度化成 444 30kg | NK-C20 10kg 高度化成 444 20kg | NK-C20 20kg 高度化成 444 20kg 尿素 10kg |
| シロガネ | | NK-C20 20kg 高度化成 444 30kg | NK-C20 15kg 高度化成 444 20kg | NK-C20 20kg 高度化成 444 20kg 尿素 10kg |
| 品種共通 | | 麦笑 40～50kg | ---- | ---- |

※今年の施肥時期の目安は見込みです